

No.149
令和7年10月23日

議会だより

松崎

「晩秋の岩科」



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。

《主な内容》

第3回定例会（9月3日～9月8日）

- 令和6年度決算審議……………2
- 令和7年度補正予算……………4
- 議員基本条例・倫理条例制定ほか……………5
- 町政を問う 一般質問に7議員……………7

令和7年第3回定例会

令和7年第3回定例会が、9月3日から8日までの3日間で開催されました。

町からは報告2件、条例3件、補正予算4件、令和6年度決算認定4件、その他2件の議案が提出され、慎重な審議を行いました。

令和6年度 一般会計 決算審議

歳入総額は46億7487万円、歳出総額は44億7084万円、翌年度へ繰り越すべき財源は6001万5千円で、実質収支額は1億4401万5千円の黒字決算となった。

歳入

問 入湯税の総務省基準は一人150円となっている。松崎町は130円

なので引き上げて観光振興に役立てる考えはないか。

答 窓口税務課長 引き上げについては、何のためには引き上げるのかという議論や事業者の皆さんの理解や協力が必要。

問 交流拠点使用料など設備投資した施設の収益が上がるっていいないが、どのような改善策があるか。

答 企画観光課長 目的は、新規事業の創出や交

流人口を増やすこととなる。浜丁の利用者も増え、一定の利用者もいるので継続して運営していく。

問 デジタル化が進んでいるが、役場で電子決済などで納められる使用料手数料はあるか。

答 窓口税務課長 今年3月から戸籍証明手数料などは、キャッシュレス決済ができるようになった。

問 国補助金でデジタル基盤改革支援、デジタル田園都市国家構想交付金とあるが、どのような事業の補助か。

答 企画観光課長 基盤改革は戸籍・戸籍附票システムの標準化などの分となり、田園都市はキャッシュレス決済およびスマートロック分となる。

問 21世紀の森基金繰入金50万円はオーナーに返還するものだと思うが、手続きはどうなっている

のか。

答 企画観光課長 オーナーが行方不明で返金できなかったが、相続人が判明して弁護士と協議して手続きを進めている。

問 防災施設整備基金が令和5年度残高ゼロ、令和6年度も積み立てされずゼロとなっている。防災施設に対する町の姿勢は。

答 町長 積み立てる余裕がない状況である。緊急自然災害防止対策事業債などを活用している現状だが、できれば、積み立てるのが良い。

歳出

問 地方創生人材支援制度負担金で来ていただいた職員にどのような期待をして、どのような成果が得られたか。

答 町長 役場の職員の目の前で民間の仕事の仕方、コミュニケーション

のとり方、お金の動かし方、イベントの組み方などが学べた。交渉力もあり、大企業との打合せで町とのつなぎ役にもなり、見習うべきだと思った。

問 買物等支援業務委託は何社行っているのか。ケアタクシーへの委託状況は。

答 健康福祉課長 令和6年度は3社に委託した。ケアタクシーは令和6年度1社で令和7年度にはもう1社増え計4社となった。



第3回定例会 議場の様子

問 人材育成支援業務委託で3年間の事業の中で2年目だが、その成果はどのようなものがあったか。継続はどう考えるか。

答 副町長 町の実態調査をして職員の働く環境がどうなっているか現状分析し、アンケートもしている。劇的な変化はないが、課題に対する取り組みは職員がやっている。再度継続するかは慎重に検証したい。

問 広域連携SDGsモデル事業負担金のデジタル村民の関係人口創出はどのような事業か。

答 町長 町外の方へデジタル住民票を販売して松崎町のツアーを作った。20人以上の方が来町し、地域の資源の棚田などを知ってもらった。ここにはない方とも地域との繋がりを深くしていくようにしたい。

問 西豆救急医療委託は西豆地区の一次救急の費

用になるが、ほぼ西伊豆健育会病院が請けていると思う。費用がかかる事業だと思うが単価などの見直しは行っているのか。



答 健康福祉課長 契約先は賀茂医師会となっております。毎年、単価金額も協議して行っている。

問 花の三聖苑の作業棟への合併処理浄化槽設置

工事を実施したが、現状使われていないようである。今後の予定は。

答 企画観光課長 食品管理衛生法改正に伴い農業振興会で漬物作業場として活用できるように、保健所の指導により浄化槽を設置した。今は試行期間だが、使用料をもらい利用される予定。

問 町有施設改修支援業

務委託で旧中川小の建物の劣化状況を調査した結果は。また、下田土木事務所松崎支所移転は継続しているのか。

答 総務課長 耐震的に非常に弱い建物で結果は良くなかった。今後は耐震の補強計画など作成する。移転は進行しており打合せを行っている。

問 行政改革推進費の内訳と今後の予定は。

答 総務課長 行政調査委員会での費用。行財政改革は進めていかなければならない。現在、各課で事業精査を行っている。

問 県営中山間地域農業農村総合整備事業の内容と今後の予定は。

答 産業建設課長 賀茂農林事務所実施の県営事業負担金となる。主な箇所は船田・峰輪の小山地区の基盤整備になる。現在これに続く第2期を検討しており、要望箇所の掘り起こしを始めている。

問 焼却施設にかかる委託料の増減の理由はどのようなものか。

答 生活環境課長 シルバー人材の分別収集対応の増、粗大ゴミ処理単価増に伴い増額となった。清掃点検では昨年あった部品交換がなく、焼却灰処理では量も減り、減額となった。



問 グリーンツーリズム推進事業委託でインストラクターを養成したがフォローアップされていない、その対応は。

答 町長 町内外の方が参加して資格を取得された。エコツアーなどの実証実験もされているので、事務局の振興公社へはネットワークを活用しグリーンツーリズムを推進

するよう指示をしている。

問 牛原山のアジサイの丘が新聞記事でも鹿の食害の対応に苦慮している。とあったが、復活する見込みと牛原山整備計画はどのようなものか。

答 企画観光課長 アジサイの丘の問い合わせはあるが、ネットを張り巡らさないと防衛できない。ネット越しにアジサイを見てもらうのも悩むところである。予算余力なく計画内の新たな取り組みは難しい。

問 美しい伊豆創造センター1800万円以上の負担の観光的効果は。

答 企画観光課長 伊豆半島一体で観光施策など進めることになっている。細かい検証はしてないが伊豆半島の下まで宣伝されてないのではとの指摘もある。職員を派遣しなければならぬが、当町ではできていない分、費用が膨らんでいる。

問 民芸館の工事費があるが、ワーケーションに関する需要はなくなってきたという報道もある。施設の利用方法に柔軟な考えはあるか。

答 町長 ワーケーションから撤退した例はあるが、ラーケーションや美術展の個展など、地域内外の方が集える場所が大事になってくる。利活用に向けて必要であれば条例改正も考える。

光施設で三聖苑と依田邸の指定管理は来年3月で終わりとなる。4月以降はどのように考えているのか。

答 企画観光課長 調査結果の中では、民間への売却などもあり良い結果ではなかった。三聖苑と依田邸のワークショップを開催して地域の方も含め、今後の活用を検討していきたい。

問 スマート自治体デジタル化の推進を重点的に取り組むと主要な施策にあったが、令和6年度にはどのような成果があったか。

答 副町長 デジタル専門人材の方には、町のアナログである箇所の現状分析してもらった。リモートロック・人事評価のシステム導入などが進んだ。

問 町有施設民間活力導入調査の結果は。町営観

答 産業建設課長 先日

区長さんからも要望はあったが、漁業活動と観光面のどちらに支障があるのかを確認し、庁内で検討していく必要がある。

**国民健康保険
特別会計**

問 マイナ保険証の普及率はどのくらいになっているのか。

答 健康福祉課長 6月現在で加入者1607人に対して1261人の方が登録して78%の普及率となっている。

問 療養給付費の減は、主に入院や高額療養費の減とのことだが、ほかの理由はないのか。

答 健康福祉課長 被保険者数が減っていることも療養給付費減少の理由となっている。

**介護保険
特別会計**

問 松崎町は要支援1か

ら要介護2までの方の割合がほかの自治体に比べ多い。今回住宅サービスの不用品も多く、認知症対応型の通所介護などのサービスも受けられないこともあり、保険料の標準月額に影響が出る場合はあるのか。

答 健康福祉課長 保険料は3年に一度見直しをしている。保険料が下がる可能性もあるが、今後高齢者が増え、対象者が増えることも考えなければならぬ。

問 介護認定される前の予防事業で不用品が多かった理由は。

答 健康福祉課長 はつらつ元気倶楽部で認知症・認知症閉じこもり予防事業を予定していたが、前年に続き事業を実施できなかった。ただし、ポッチャ教室は実施した。



**一般会計
補正予算**

歳入歳出に4569万2千円を増額して補正後の額45億4267万8千円(1.0%増)とするもの。

歳入の主なものは、国庫支出金、繰入金、諸収入を増額し、県支出金、町債を減額した。歳出の総額に不足するものは地方交付税を増額した。

歳出では、企業人材受入れによる地方創生人材支援(派遣)制度負担金、情報セキュリティポリシー改定支援業務委託、公共非農用地取得に伴う鮎川地区基盤整備事業、里山林整備業務委託、漁港海岸施設長寿命化計画策定業務委託、道路維持工事費や修繕料、生涯学習センター照明器具改修工事などを増額した。

また、4月の人事異動などにより人件費を減額した。

問 当初予算約1億円の防災行政無線機器更新事業のうち県補助金の緊急地震津波対策交付金6300万円が減額された。この減額分は町費で実施するののか。

答 総務課長 県内市町の要望が多く県予算額が上回り、各町への配分に上限が設定された。防災行政無線機器は来年の11月で保守が切れる。その後、故障などあると部品交換などスムーズにできなくなるので厳しい財源だが実施を考えている。

問 コロナ予防接種が減額されているが、今年度の助成はなくなったのか。

答 健康福祉課長 令和6年度で新薬・未承認薬等研究開発支援センター助成金が終わった。令和7年度からは個人負担が多くなるが、賀茂郡統一で約1万6000円の接種のうち個人負担7000円、公費助成9000円としていくこととした。

令和7年度
一般会計補正予算

反対討論

防災行政無線更新について、当町は財政が本当に厳しいと言っている中、こういった補助金を活用するのは当然のことである。可能であれば、来年度新たに財源確保をして実施するのが一番良いことである。

賛成討論

防災行政無線更新に再考は求めるが、この予算を通さないと滞ることがたくさんあるので賛成とする。

他に後期高齢者医療特別会計決算、国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計の補正予算も認定・可決されました。

町民と議員との
懇談会

6月28日に議会懇談会を開催しました。21人の方々がご参加され、産業振興、まちづくり全般、医療・福祉・教育、防災の4つの分野で活発な意見交換が行われました。

【産業振興】

耕作放棄地の活用や旧港の利用者から町へのお金の還元策について提案がありました。また、農業への温泉熱利用や、観光客向けに夜の交通手段確保の要望もありました。

【まちづくり全般】

空き家バンクの物件不足や町の発展の柱となるテーマ設定、桜の保全が課題として挙げられました。また、高齢者向けの活動支援や、キャンプ場や「ふるさとガイド」の復活、ごみのリサイクル細分化なども提案されました。

【医療・福祉・教育】

西伊豆町でのヘルパー事業所廃業を例に高齢化社会の不安が示されました。地域住民の安心のため、診療所の問題解決や、住民に寄り添う医師の確保が求められました。また、子育て世代の移住支援としてライドシェアや子どもを預ける仕組みの必要性が指摘されました。

【防災】

浜岡原発の放射能漏れに対する心配や、津波避難ビル・タワー、防災公園の進捗状況についての質問がありました。また、災害時の道路寸断や観光客向けの非常食確保、防災訓練のあり方についても課題が示されました。さらに、防災機能を高めるために、防災課への格上げを検討すべきとの意見もありました。

今回、他にも多くの意見がありました。それぞれの議員活動、議会活動に活かしていきます。今後も継続して議会懇談会を開催し町民の皆さま



懇談会の様子

議会基本条例・議員
政治倫理条例の制定

議会では基本条例制定特別委員会を設置し政治倫理条例の制定も併せ検討を進めてきました。

令和7年9月議会において議員の責務など議会に関する基本的事項を定める議会基本条例と遵守すべき政治倫理に関する行動基準を定め、町民に信頼され、町政の発展に寄与するよう政治倫理条例を制定しました。

の声に寄り添えるように
精進したいと思えます。

第 3 回定例会の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	小林克己	深澤守	高柳孝博	藤井要	議決状況	
第3回定例会	議案第70号	松崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等について、対応する民間労働法制の施行日である令和7年10月1日から遅れることなく実施するため改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第71号	松崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について 育児時間の取得パターンの多様化等について、対応する民間労働法制の施行日である令和7年10月1日から遅れることなく実施するため改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第72号	松崎町議会議員及び松崎町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について 物価の変動等を鑑み、選挙運動用自動車の使用料、燃料費、ピラ及びポスターの作成費などの経費に係る限度額を引き上げ、一般運送契約以外の選挙運動用自動車運転手雇用を新設するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第73号	令和7年度松崎町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	
	議案第74号	令和7年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出に579万9千円を追加して補正後の額を9億4,137万8千円とするもの。 主な内容は、令和6年度の決算、令和7年度の国民健康保険税の本算定によるもの。歳入歳出の差額について予備費を増額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第75号	令和7年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出に477万1千円を追加して補正後の額を1億5,075万9千円とするもの。 主な内容は、令和6年度の決算及び後期高齢者医療保険料本算定によるもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第76号	令和7年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出に7,212万2千円を増額して補正後の額を10億3,112万2千円とするもの。 主な内容は、繰越金の確定、令和6年度の国庫支出金等の精算、職員の異動に伴う人件費などによるもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第77号	令和6年度松崎町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入の増加の主なものは、新共同調理場建設工事などに伴う借入れにより町債が3億1,213万3千円、地方交付税が1億1,878万4千円の増となった。歳出の増加の主なものは、新共同調理場建設工事等で3億3,478万円、戸籍情報・住基ネットシステム関係の更改で3,067万8千円の増となった。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第78号	令和6年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額は8億7,226万2千円 前年比4.4%減、歳出総額8億6,724万2千円。 前年比3.7%減で、歳入歳出差引額は502万円の黒字決算となった。 基金積立金は利息分の3千円を積み立て、年度末基金保有額は1億4,803万円となった。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第79号	令和6年度松崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額は1億4,452万5千円 前年比14.5%増、歳出総額は1億4,452万3千円。 前年比15.0%増で、歳入歳出差引額は2千円の黒字決算となった。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第80号	令和6年度松崎町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額は10億5,066万5千円 前年比1.2%減、歳出総額9億8,470万9千円。 前年比1.3%増で、歳入歳出差引額は6,595万6千円の黒字決算となった。	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	議案第81号	教育委員会教育長の任命について 教育長 平馬誠二氏が令和7年12月17日で任期満了となるため、再任するもの。	無記名投票により採決 総数7票 賛成6票 無効票1票							同意	
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について 任期満了に伴い新たな候補者（土屋恵美子氏：櫻田）を推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	適任答申
	発議第3号	松崎町議会基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	発議第4号	松崎町議会議員政治倫理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書案第2号	森の力再生事業の継続を求める意見書の提出について 荒廃森林の初期整備を通じて「森の力」を回復させ、土砂災害防止や水源涵養など県民の安全・生活環境を守るものである。松崎町の地域課題解決にも不可欠であり、持続可能な社会のために本事業の継続・推進を求め、意見書を提出するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

賛成：○ 反対：× 欠席：-

問 組合立中学校の計画は

答 今後準備会を設置



高橋良延 議員



動画

問 松崎中学校・西伊豆中学校を統合した組合立中学校が最終計画案となるのか。

答 (教育長)

現時点で最終計画として確定したのではない。今後、準備会を設置し、協議の進展によって変更修正の可能性はある。

問 組合立中学校の設置について、広く町民の意見を聴く場をどのように考えているか。

答 (教育長)

保護者向けの説明会を開催するとともに、広く丁寧な対話を心がけていきたい。

問 組合立中学校を松崎高校に置くことが、松崎高校の存続にもつながらないか。県との協議はされているのか。

答 (教育長)

これまで県教育委員会とは、事務レベルで話してきたが、現時点で正式な回答はない。



組合立中学校と松崎高校の今後は

写真は松崎高等学校校舎

問 深澤町政4年間の総括は

答 全力を注いできた

問 4年前「新しい松崎」を掲げ町長となったが、

町長が代わったことが新しいことではなく、「新しい松崎」に向けて、具体的に何を行ったのか問われる。町民に約束した公約に対する町長の総括は。

答 (町長)

公約には、「防災まちづくり」、「生涯活躍のま

ちづくり」、「子育て環境の充実」を掲げ、各種施策を講じてきた。任期の4年間で公約に掲げたすべてを成し遂げることは出来なかったが全力を注いできた。

問 町民の評価をどのように感じているか。

答 (町長)

いろいろなご意見はあると考えるが、激励の言葉や指導などの声をいただき、真摯に対応している。

問 次期町長選挙への出馬意思は。

答 (町長)

第6次総合計画で掲げた施策実現のため、次期町長選挙へ出馬し、町民の皆さんのために力を発揮したいと考えている。

問 危険建築物への対応は

答 県で対応している

問 雲見区内の町道に所

有者が不在の、建築物の壁のコンクリートが落下する事案が発生したが、不在の所有者に対する指導は。

答 (産業建設課長)

本事案は、令和4年から静岡県が建築基準法に基づき、年1回建築物の改善計画を報告するよう文書で通知している。

問 雲見の事案に限らず町内では空き家が増えてきており、空き家特措法による「空家等対策計画」を策定し、町としても事案に対し、素早く対応していくことが、必要ではないか。

答 (町長)

「空家等対策計画」は本年度、産業建設課を1名減員したことにより、策定を見合わせた。建築基準法で不適格建築物の所有者に対し、県が指導・勧告・命令ができることになっていたので、適切な対応を求めている。

問 求償権の管理は適正か

答 時効迫る方針定め対処



藤井 かなめ 要議員



動画

問 平成12年に町と業者が締結した求償権契約は平成27年以降入金がない。町はどのような管理をしてきたのか。また、今後の回収に向けての対策は。

答 (町長)

以前からの引継ぎ事項であり、毎年度、文書にて未納額と利息を通知し、納入のお願いを継続していく方針に変わりはない。

答 (産業建設課長)

平成29年に債務承認を清算人が提出しており、

状況である。このままでは近隣住民や子どもたち、通行車両への危害が心配される。早急に対策を講ずるべきではないか。

答 (町長)

産業建設課の職員を1名減員したこともあり、対策の検討を見合わせている。不適格建築物の所有者に対する指導や命令ができることになっていくが、空き家の権利者がわからず対応方法に苦慮している。県に対し適切な対応を求めているところである。

令和9年に時効の完成となる。金額も多く時効も迫っているので方針を定め、対処について検討していくことになると思う。

問 危険な建物撤去を

答 県に対応を求める

問 「危険な空き家」について、幾度となく質問をしているが、今現在

も、壁が落ち、屋根は陥没し、隣接する民家に被害を与えている、危険な

問 幼保教育の今後は

答 中期的な視野で検討

問 河津町では少子化が進む中でも継続的な教育・保育事業の方針により、

幼稚園と民間保育園を一体的に行う認定こども園を開始するとの事だが、松崎町も今後の方針を考

答 (教育長)

近年は共稼ぎ世帯の増加などにより、幼稚園児

は減少傾向である。このため、幼稚園では預かり保育の充実や保育的な機能強化、保護者のニーズの把握に努めている。将来にわたって町全体で子育て支援体制に努めていきたいが、幼稚園と保育園のこれまでの背景、流れがあり、調査・検討を進めていきたい。

特定空家とは※

※空家対策の推進に関する特別措置法

- ①倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
- ②著しく衛生上有害となるおそれのある状態
- ③適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態
- ④その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態



問 市町管理区間を県管理へ

答 積極的に要望する



小林 克己 議員



動画

問 県道湯ヶ野松崎線は、松崎町と河津町を連絡する産業振興における重要な路線である。なおこの路線には市町管理区間があるが、県管理とする働きかけなど、町としてどのように考えているか。

答 (町長)

県道115号湯ヶ野松崎線は当町と河津町をつなぐ一般県道である。大鍋峠付近に松崎町、下田市、河津町がそれぞれ管理する区間があり、分断

した県道である。県への働きかけは、機会を捉えて整備要望を行っている。

問 伊豆縦貫道から伊豆の西側へアクセスする道路は、県道下田松崎線の一本しかない。災害に強い自治体へと変身していくには複数のアクセス道路が必要であるが、この道路を積極的に要望していく考えはあるか。

答 (町長)

伊豆縦貫道路を背骨と

する場合、肋骨道路として一番優先的に話をしていくのが県道下田松崎線である。伊豆の道路の脆弱性として雨量規制があるが、迂回路があればそれにこしたことはない。知事と財政の話をしたが、県のほうでも先立つものがなければ着手できないとのことだった。ただ、当町のような規模の小さな自治体は県・国の力を借りないとインフラの整備が行えないので、積極的に要求、要望をしていかなければと考える。

問 給食の品質・量は

答 変わっていない

問 今年度は物価高騰に伴い給食費も値上げとなった。値上げ前と比較して質と量は確保されているのか。

答 (教育長)

学校給食食材の主な納入先は静岡県学校給食会である。販売価格が値上

げされたことから給食費を値上げした。購入した食材やサイズ、数量は変えていないため品質・量ともに変わっていない。

問 保護者の経済負担軽減を目的として公費の投入の検討が給食審議会でされたのか。

答 (教育長)

委員会では給食会計の健全性や安全・安心な給食を提供するための1食あたりの単価などを協議検討している。保護者の

経済的負担軽減などに関する財源的な話題の中で、特に公費を投入することは検討していない。

問 B & G プール利用は

答 9月から試す

問 いつから小学生の水泳授業をB & G プールでするのか。

答 (教育長)

プールの利用率向上と教員の働き方改革をふまえ、9月よりテスト利用を行う。



問 災害時のトイレ対策は

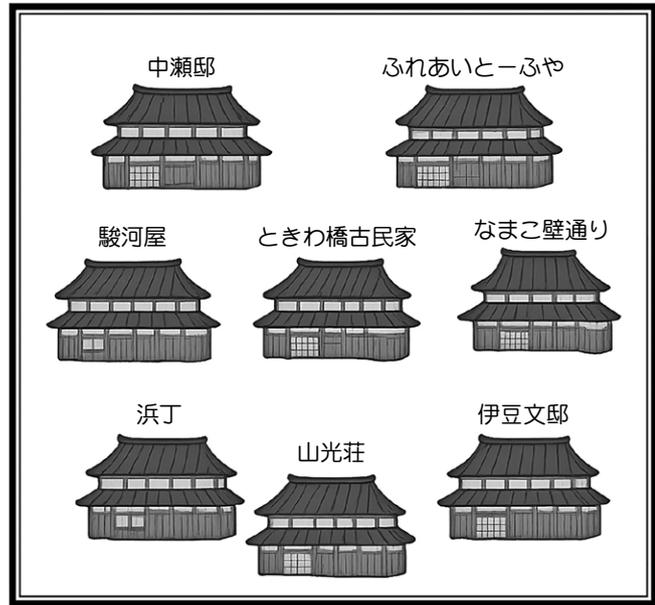
答 不測の事態に備えている



菜野良枝議員



動画



古民家スクエアとは
那賀川河畔に点在するなまこ壁や古民家を改修して、歴史景観地区を整備し、新たな町の観光や産業振興の活動拠点として多くの人たちと活用することを目指す民間プロジェクトです。
※イメージ図

問 昨年9月の定例会一般質問以降、災害時のトイレ対策についてどのような検討をしたか。

答 (町長) 知識向上に努めており、災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定を締結した。

問 トイレトレーラーを持つ自治体が増えることにより、その台数が自治体の備蓄になるという考え方もあり、費用対効果もあるのではないかと状況を勘案しながら考えていきたい。

答 (総務課長兼防災監) トイレの備蓄で増やしたものはあるか。

問 東伊豆町が導入予定のトイレトレーラーの研究は。

答 (町長) 整備が完了したら、現

地を確認したい。

問 7月30日に発表された津波警報の対応は。

答 (町長) 町営施設の閉鎖をした。

問 授業中に津波避難警報が発表された場合も特別教室などを避難所として使用できるか。

答 (町長) 小中学校から、授業中であつても避難して良いとの回答を得ている。

問 民間との関りは

答 支援を考えたい

問 民間プロジェクト「古民家スクエア」にどう関わるのか。

答 (町長) エリアの8つの拠点に中瀬邸、ふれあいとーふや、伊豆文邸、浜丁と4つの町営施設が含まれ、活用方法など調整が必要で、町も協力・連携していきたい。

問 福祉や教育の場としての利用も視野に入れ、健康福祉課や教育委員会の協力も必要では。

答 (健康福祉課長) 高齢者にとつても、子どもにとつても居場所づくりは必要なことで協力を考えたい。

答 (教育長) 子ども食堂の展開などで、できることは協力したい。

問 フェリーの今後は

答 関係市町と協議

問 台船やプロペラ修繕などにより新たな負担はないか。

答 (企画観光課長) 現時点で負担増はないが、来年度以降の負担増が見込まれる。

問 今後も運行は継続可能か。

答 (企画観光課長) 今後も赤字が続けば経営判断が必要。

問 介護人材不足への対応は

答 賀茂全体で人材育成を



藤井昭一 議員



動画

問 西伊豆町ではヘルパー事業所3社が事業をやめてしまった。今、松崎ではヘルパーを利用しなくてもヘルパーの人手が足りず利用できないという状況が起きている。このような状況についてどう感じているか。

答 (町長) 少子高齢化や過疎化に伴う人材不足は大変厳しいと感じる。

問 介護人材が不足して

いるのは松崎町だけではなく、賀茂1市5町共通の課題である。賀茂郡内ではヘルパー養成講座は開かれておらず、サービスを担う人材育成が大変難しい。賀茂全体で養成講座開催を呼びかけられないか。

答 (健康福祉課長) 賀茂郡で介護関係の会議があり、提案はできる。

問 民間の介護事業者が不足している今だからこ

そ社会福祉協議会が力を発揮し、地域福祉を支える必要性があると強く感じている。社会福祉協議会でヘルパー事業を立ち上げることはできないか。

答 (町長) 今の松崎の社会福祉協議会では人手不足でなかなか難しい。しかし、社協がこのままではいけないという認識は持っている。何とかしていきたい。

問 高校生など若い人たちに介護の仕事の魅力を発信できないか。

答 (健康福祉課長) 今年度、介護予防事業でeスポーツを行った。ボランティアで中高生に来てもらい、高齢者の方たちの指導をしてもらうなど取り組んだ。

問 子育て支援あいは

答 支援者確保が課題

問 ファミリーサポートセンター(子育て支援あ

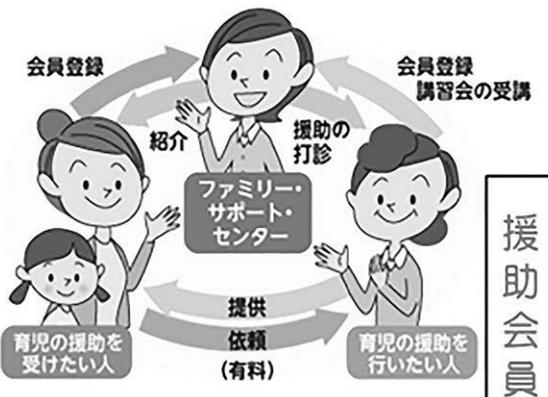
い制度)について松崎町子育て支援事業計画では一定のニーズがあるという調査結果が出ている。町民と議会の懇談会でも移住定住促進の観点からも必要ではないかとの声があったが、どうか。

問 子どもを預かる高齢世帯にとっても、役割や生きがいを得られ、新しい関係性も作られる。とても素晴らしい制度だと思いが、どうか。

答 (町長) 支援者の確保が大きな課題だが、必要な事業と認識している。子育てしやすい環境づくりに努めていく。

答 (健康福祉課長) お互い助け合うという事で素晴らしい制度だと思おう。下田市や河津町などやっているといるところもあるので検討したい。

ファミリーサポートセンターは地域ぐるみで子育てを支えあう国の制度です。「保育園のお迎えをお願いしたい」「少しだけ子どもを預かってほしい」など、ちょっとした日常の困りごとに有償で支援が受けられます。共働き世帯の増加や祖父母が遠方に住んでいる家族が増えたことなどを背景に全国の自治体で導入が進んでいます。松崎町ではまだ導入されていません。



問 移住定住の新施策は

答 指導・助言の体制づくりで



高柳 孝博 議員



動画

起業家への伴走支援

1. 専門家による個別メンタリング
2. ハンズオン支援（実務支援）
3. アクセラレーションプログラム
4. コミュニティ形成支援
5. 資金調達支援
6. 公共支援機関による長期支援
7. 成長後のスケール支援

メンタリング：技術やスキルを持つ指導者が、成長を促す指導方法

問 経済循環の強化について移住定住の促進をどう考えるか。

答 移住定住の目標値を上げて取り組むべきではないか。

答 起業後の伴走支援の取り組みは。

答（町長）

起業された方は8人あり、その内5人の方は移住者だった。移住定住について、新しいことはなく、これまでの活動の成果と考えている。

目標値については、第3期総合戦略で年間の起業家を1件から3件に増やした。

伴走支援については、起業補助金のほか、町内事業者の紹介、つなぎ、空き店舗の紹介など、移住定住促進協議会に委託している。

今後は商工会、金融機関と連携して研修会や起業から経営までの指導、助言ができる体制を整える。

問 避難タワー建設は

答 必要基数の算定で

問 避難タワーの建設に向けて必要箇所の考え方、今までの課題と、住民からの要請と対応状況は。

答（町長）

津波避難タワーは、津波被害に備え、津波避難地区に整備するもの。タワーの建設に当たっては、国の都市防災総合推進事業交付金を活用して整備を進めていく考えであり、整備計画を策定して国に提出となる。現時点で事前申請をしているが、今後詳細な資料を作成し、検討していかねばならない。

課題としては、計画における必要数の算出に時間を要することが挙げられる。住民からの要請は3地区からだされており、まず南区と候補地を検討している。

問 遠隔医療について

答 医療の確保を検討

問 遠隔医療の取り組みについて、無医地区池代、準無医地区門野への遠隔医療の実現に向けての計画はあるか。

答（町長）

池代地区、門野地区がへき地医療拠点病院における無医地区等への巡回診療の対象となり、今後は、巡回診療の実施に向けて進めていく。

遠隔医療は、費用が高額であること、ネット環境が整っていないことや高齢者がスマホなどの操作が難しいことなど、課題が多い状況である。

巡回診療は無医地区が対象となるため拡大していくことはできないので、オンライン診療も含め県とも協力して、医療の確保に努めていきたい。

問 ウェルビーイングとは

答 一人も取り残さない



深澤 守 議員



動画

問 松崎町第6次総合計画にあるウェルビーイングの理念とはなにか。

答 (町長)

総合計画では「誇り高く、穏やかに、豊かに生きられる」を将来像にしたまちづくりを基本理念とし、「人と人が交流し、きょうどうするまち」「地域の自然、文化、伝統を大切にすまち」「風と土が出会い、育ちあうまち」「人生のはじめから終わりまで、よりそい支

え合うまち」「だれもが夢を描き、チャレンジできるまち」の5つを挙げている。困難な課題を分かち合い、お互いに助け合い、だれ一人取り残さないまちづくりを進めていくことが住民一人一人のウェルビーイングにつながるものと考える。

問 ウェルビーイング実践に向けた施策はあるか。

答 (町長)

「将来像の実現を目指し、

いのちを守る防災」「安心して最後まで暮らせるコミュニティ」「新たな考え方や技術などを取り入れた産業振興」「土地の恵み、豊かさ、誇りを大切に受け継ぐ」「子供から大人まで学び育ち合う」この5つを重点施策に、だれ一人取り残さない支え合いのまちづくり、だれもが夢を育み実現できるまちづくり、地域に根付いた産業が育まれ経済がにぎわうまちづくり、豊かな社会、自然環境を次代へつなぐ持続可能なまちづくり、コンパッションを共有し「きょうどう」で進めるまちづくりを各分野で進めていく。

問 地域コミュニティの再構築のため、行政が担う役割とはどのような施策があるか。

答 (町長)

少子高齢化や後継者不足により、まちづくりの中心を担ってきた地域コミュニティの弱体化が進

み、各地区の祭りなどの行事の継続は困難になってきている。こうした状況において、地域コミュニティの活性化を図るため、町としては現在地域で活動しているコミュニティ団体と連携を図り、多くの町民が参加・協力できる体制づくりを進めていくことが必要だと考えている。

問 観光の振興策は

答 観光資源の発掘

問 松崎町の基幹産業である観光振興の策は。

答 (町長) コロナ禍で観光客が激減し回復傾向にはあるものの、依然として観光業は厳しい状況が続いている。

以前とは観光の目的や旅行形態が変化してきており、観光客のニーズが多様化する中で、その対応が必要な状況となっている。こうした中で、グリーンツーリズムなどの体験型観光や観光資源の発掘と活用を推進するとともに、ターゲットを絞るなど、観光PRの強化に努めていく。

ウェルビーイング Well-being = 3つの健康が満たされた状態

身体的な健康



精神的な健康



社会的な健康



次の定例会は、12月23日(火)からの予定です。

議会のらごき

7月

11日 市町議会議員研修会（静岡市）

16日 広報編集委員会
西豆広域行政組合臨時会

25日 広報編集委員会
賀茂郡町議会議長会議（松崎町）

8月

7日 議会だより第148号発行

18日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会等
令和7年度合同促進大会（東京都）

19日 議会全員協議会
松崎町・西伊豆町議会懇談会
南伊豆地域清掃施設組合議会定例会

20日 下田メディカルセンター議会定例会
下田地区消防組合議会定例会

27日 重要問題懇談会
議会運営委員会・広報編集委員会

9月

3日～8日 第3回定例会

17日 静岡県町村議会議長会総会

29日 交通安全を誓う大会

表紙の写真「晩秋の岩科」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 田中道源

編集委員長

高柳孝博

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
深澤守
藤井要

この人に 聞きました④

長八ガイドボランティア



久住ひよりさん 齋藤美桜さん 菊地匠さん

町内で活動する皆さんを紹介するコーナーです。今回は長八美術館ガイドボランティアをされた、松崎中学校1年生の3人にお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

長八美術館に関係する入江長八氏、外尾悦郎氏、石山修武氏についてのガイドをしました。ガイドをすることで多くの人と関わるとても良い体験になりましたし、挨拶や

笑顔も素晴らしいと褒められてうれしかったです。

○課題や今後の活動は。

松崎高校で1月に行われる西豆学合同発表会で、1年生は、長八美術館のことを発表する予定です。また、来年の1年生にもガイドをしてもらって、松崎の魅力をもっと多くの人に知ってほしいなと思います。これからも松崎の魅力を観光客に伝えていきたいと思っています。今後町のイベントなどで

もガイドをする予定です。

○町への要望はありますか。

中学校の施設について、エアコンがなくて暑いところも多いので、特に体育館や図書室に設置してほしいです。設置している教室も効きが悪い所もあるのです。その部分や校舎の雨漏りなども直してもらえると嬉しいです。

（聞き手 編集委員長

海鳴り

議会は議事機関として議決機能だけでなく、行政の監視や、町民からの意見や要望を受け審議し、政策提案などを通じ、町民の声を町政に反映させる役割があります。先日の議会懇談会では、産業振興や医療・福祉、防災といった様々な分野で、皆さまより貴重なご意見を賜りました。その中で特定空き家対策に関してのご意見もありました。これまで各議員で取り組んできた案件ですが、今後は議会として取り扱っていかうと思っています。

他にも課題は多くございますが、皆さまの切実な声は議会として真摯に受け止め、今後の町政の一つ一つ反映させていく所存です。今後も議会として町民の皆さま、松崎町の未来のため役割を全うしていきたいと思っております。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

（議長）